

# 馬術競技における競技力向上について

馬術専門部 清水邦彦 (立教新座高等学校)

## 1. 馬術競技について

高校における馬術競技は、主なものとして、障害馬術競技と馬場馬術競技があります。

障害馬術競技は、競技馬場に設置された障害物を、決められた経路を順番通りに飛越・走行するものです。そして、勝敗については、障害物の落下や馬の反抗などがなく、早く走行しゴールすることが求められます。

障害物の高さは、大会によっては 160 c m を超えるものもあります。例えば、インターハイの障害物は、高さが 120 c m 以内、幅が 140 c m 以内となっていて、競技のクラスは日本馬術連盟競技会規定中障害 C 程度となっています。障害物の落下が減点となる競技と、落下をタイムに換算する競技があります。前者の障害物の落下が減点となる競技では減点が少ない人馬が上位になります。

- ・ 経路違反・・・決められた飛越の順番を間違えること。
- ・ 反抗・・・障害物の前で馬が止まったり、障害を避けたりするなど、騎乗者の指示に従わないこと。
- ・ 失権・・・競技中にそれ以降は走行していけない状況のこと。審判員がそれを告げるベルを鳴らします。

| 障害      | 中障害 A   | 中障害 B   | 中障害 C   | 中障害 D   |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 160 c m | 140 c m | 130 c m | 120 c m | 110 c m |



また、馬場馬術競技は、定められた運動を人と馬が一体となり、定められた通りにできるだけ正確に動かす馬術競技です。平面の馬場 (60m× 20m) を使用して、定められた経路で、常歩 (なみあし) ・速歩 (はやあし) ・駆歩 (かけあし) 等の歩法を基本にして、発進・停止・後退・円形歩法などの技術を加えて、規定の順序で、一定時間内に動かします。

## 2. 埼玉県の高校生が参加する主な大会一覧

下記の全ての大会で、障害馬術競技が行われます。試合によっては、必要な参加資格があります。馬場馬術競技は、関東高等学校馬術選手権（6月）、全日本高等学校馬術選手権大会（8月）、関東高等学校自馬競技大会（12月）の大会で行われます。

| 実施月 | 開催団体        | 行事                   | 場所             | 適用  | 参加資格  |
|-----|-------------|----------------------|----------------|-----|-------|
| 4月  | 関東高等学校馬術連盟  | 関東高等学校馬術リーグ戦         | 馬事公苑           | 半自馬 | HB級以上 |
| 6月  | 埼玉県高等学校体育連盟 | 埼玉県学校総合体育大会馬術競技の部    | 日本乗馬倶楽部        | 貸与馬 |       |
|     | 関東高等学校馬術連盟  | 関東高等学校馬術選手権          | 馬事公苑           | 半自馬 | HB級以上 |
|     | 関東高等学校馬術連盟  | 全日本高等学校馬術競技大会 関東地区予選 | 御殿場市馬術スポーツセンター | 半自馬 | HB級以上 |
| 7月  | 全日本高等学校馬術連盟 | 全日本高等学校馬術競技大会        | 御殿場市馬術スポーツセンター | 貸与馬 | HB級以上 |
| 8月  | 全日本高等学校馬術連盟 | 全日本高等学校馬術選手権大会       | 馬事公苑           | 貸与馬 | HB級以上 |
| 12月 | 関東高等学校馬術連盟  | 関東高等学校自馬競技大会         | 馬事公苑           | 自馬  |       |
| 3月  | 埼玉県高等学校体育連盟 | 埼玉県新人大会馬術競技の部        | 日本乗馬倶楽部        | 貸与馬 |       |

## 3. 資格（ライセンス）について

主なものとして、次のものがあります。

- ・社団法人 日本馬術連盟が発行する資格 C級～ A級
- ・全日本高等学校馬術連盟が発行する資格 HC級～HB級（※高校生専用）

他にも社団法人全国乗馬倶楽部振興協会が発行する資格（5級～）もあります。馬術競技を目指している人は、3級以上を目標にする場合が多く、2級以上を取得すると社団法人日本馬術連盟のB級に移行することも可能です。さらに、日本乗馬少年団連盟が認定する資格もあります。

高校生の大会では、2. の表で述べた参加資格HB級が必要な場合があります。この場合、全日本高等学校馬術連盟が発行する資格HB級、もしくは、同等の資格（例えば、日本馬術連盟が発行する資格B級、日本乗馬少年団連盟が認定する少年団中級等）が必要になります。

関東大会や全国大会といった上位の大会にでるためにはこの資格が必要となり、資格取得のためには馬術の知識・技術、競技力の向上が必要です。

#### 4. 埼玉県登録校と指導体制の状況

馬術部は、馬という生き物を扱う部活であるために、各校とも学内で活動というわけにはいかないのが現状です。関東高等学校馬術連盟の加盟校のおおよその活動形態は次の通りです。

- ① 主に学内で活動      ② 主に乗馬クラブで活動      ③ 主に大学馬術部で活動

①の形態をとっている学校は、ほとんどありません。多くの学校が、②もしくは③の形態で活動しています。埼玉県内の馬術部のある学校は、浦和学院高等学校、本庄第一高等学校、立教新座高等学校の3校ですが、3校とも②の形態で活動しています。

また、指導体制については、顧問が馬術の専門家ではないことが多いため、乗馬クラブのインストラクターや馬術部OBに技術指導（競技力向上）をお願いするケースが多いのが実態です。

#### 5. 競技力向上に向けた取り組み

- (1) 生徒の各種競技会・講習会への参加
- (2) インターハイ等強化事業(埼玉県高等学校体育連盟)を活用した専門家の指導による競技力向上
- (3) 埼玉県馬術連盟との連携
- (4) 指導者講習会等による馬術部顧問の指導力向上
- (5) 乗馬クラブインストラクターや馬術部OBの御協力による技術指導
- (6) 騎乗者認定試験(資格)の取得に向けた指導と、騎乗者認定試験の実施

#### 6. 埼玉県各校の近年の主な実績

近年は、生徒の努力はもちろんのこととして、競技力向上に向けた取り組みの成果として、下記のような実績があります。とりわけ、輝かしい成果として、2年連続で埼玉3校すべてがインターハイに出場しています。

##### (1) 2015年度

- ①第66回関東高等学校馬術リーグ戦

浦和学院高等学校 第3位 ※全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ)出場権獲得

- ②第49回全日本高等学校馬術競技大会関東地区予選

本庄第一高等学校・立教新座高等学校 ※※全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ)出場権獲得

- ③第49回全日本高等学校馬術競技大会

浦和学院高等学校・本庄第一高等学校・立教新座高等学校 出場

- ④第51回関東高等学校自馬競技大会

立教新座高等学校 団体 3位

##### (2) 2016年度

- ①第67回関東高等学校馬術リーグ戦

浦和学院高等学校 準優勝 ※全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ)出場権獲得

- ②第50回全日本高等学校馬術競技大会関東地区予選

本庄第一高等学校・立教新座高等学校 ※※全日本高等学校馬術競技大会(インターハイ)出場権獲得

- ③第50回全日本高等学校馬術競技大会

浦和学院高等学校・本庄第一高等学校・立教新座高等学校 出場予定

#### 【引用文献・参考文献】

高橋悟(2014). 障害馬術競技における安全対策, 埼玉県高等学校体育連盟研究部発表資料.